

第**59**期 第2四半期決算のご報告
2016年4月1日から2016年9月30日まで

株主通信

CONTENTS

- ① 株主の皆様へ
- ② トピックス
- ③ セグメント別業績
- ⑤ 連結決算ハイライト
- ⑦ 四半期連結財務諸表
- ⑨ 会社の概要



株式会社 **丸順**

証券コード：3422

株主の皆様へ

ご挨拶



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第59期第2四半期（2016年4月1日から2016年9月30日まで）を終了いたしましたので、営業概況及び第2四半期決算のご報告を申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年11月

代表取締役社長

今川喜章

連結業績の概況

「丸順構造改革プラン」推進により、 2期連続で営業利益黒字を達成

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、原油安及びドル高に歯止めがかかるなか、景気回復が続いており、欧州でも企業の採用及び賃上げ姿勢に慎重さがみられるものの、回復基調は維持しております。アジアでは、中国で固定資産投資を中心とした景気の減速傾向が続いているものの、日本では、公共投資及び住宅投資等の上振れにより緩やかに景気が持ち直しております。

当社グループが属する自動車業界においては、米国では、安定した労働市場及び低金利により販売を後押しする環境にあるものの、新車販売の増加がピークを迎え徐々に需要が低迷しております。タイでは、政府支出の増加による経済の改善効果が自動車業界にも少しずつ表れはじめております。中国では、昨年からの実施されている小型車の自動車取得税半減措置により新車需要が高まっているものの、日本では燃費不正問題及び軽自動車の増税影響等により需要が低迷している状況です。

このような状況のもと、当社グループは厳しい収益状況からの早期脱却と、持続的な企業成長に向けた「丸順構造改革プラン」を継続して推進しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は29,069百万円（前年同四半期比17.4%減）、営業利益は740百万円（前年同四半期比25.7%増）、経常損失は94百万円（前年同四半期は169百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は13百万円（前年同四半期は2,591百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、早期に経営状況の健全化を目指すという観点から、誠に遺憾ながら中間配当は見送らせていただくこととなりました。

トピックス

Topics
1

日本丸順 自動車メーカー向けからの金型受注を拡大

日本丸順のエンジニアリング事業は、創業以来の自動車用車体プレス部品用の金型製作を核として技術の蓄積を進めており、自社量産用の金型製作だけでなく、大手自動車メーカー向けの金型製作も手掛けることで、金型造りを進化させております。なかでも当社は、1500tonメカプレス機等の充実した設備を有していることから、ドアパネルやトランクアウターなど大物金型の製作に対応しております。また、原価低減のための取り組み及び積極的な受注活動により、トヨタ系、スズキ系及びスバル系など各自動車及び自動車部品メーカー様からの引合いを頂いております。

トランクアウター



Topics
2

タイ・マルジュン社 武漢丸順社 New CIVICのバンパービームを世界に供給

タイ・マルジュン社及び武漢丸順汽车配件有限公司は、今春、グローバルで販売を開始したホンダ「CIVIC」のバンパービームをメガサプライヤーであるValeo社より初めて受注し、タイ、中国の他、米国、カナダ、トルコ等に供給しております。当該部品は加工の難しい高張力鋼板材を組み合わせた部品であり、プレス成形の難しさ及び溶接による熱ひずみ等の技術的課題の克服が受注に繋がりました。今後も丸順グループの技術をアピールし、さらなる受注拡大を図ってまいります。



納入部品



ホンダ「New CIVIC」

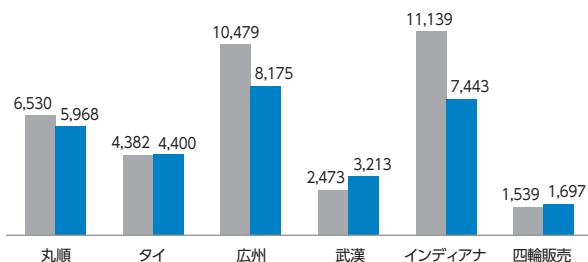
セグメント別業績

セグメント別売上高 (第2四半期)

(単位: 百万円)

■ 2016年3月期

■ 2017年3月期



丸順

〔株式会社丸順〕

減収減益

丸順においては、主要客先向け自動車部品の生産量の減少等により売上高は減少いたしました。また、為替差損等の営業外費用の増加により経常利益も減少いたしました。

以上の結果、売上高は5,968百万円(前年同四半期比8.6%減)、経常利益は162百万円(前年同四半期比59.1%減)となりました。

タイ

〔タイ・マルジュン社〕

増収増益

タイにおいては、エンジニアリング事業において専用設備の販売が拡大し、現地通貨ベースでは売上高は増加したものの、円高による為替影響により邦貨ベースでは前年同期とほぼ同水準となりました。なお、購入費及び経費等の削減に伴う製造原価低減の取り組みにより、損失は減少いたしました。

以上の結果、売上高は4,400百万円(前年同四半期比0.4%増)、経常損失は156百万円(前年同四半期は640百万円の経常損失)となりました。

広州

〔広州丸順汽车配件有限公司〕

減収増益

広州においては、エンジニアリング事業の専用設備の売上が減少したことにより売上高は減少したものの、労務費及び経費等の削減に伴う製造原価低減の取り組みにより利益は増加いたしました。

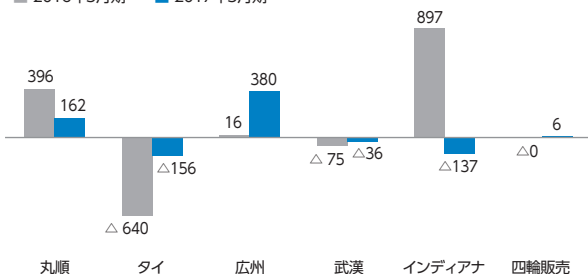
以上の結果、売上高は8,175百万円(前年同四半期比22.0%減)、経常利益は380百万円(前年同四半期は16百万円の経常利益)となりました。

セグメント別経常損益 (第2四半期)

(単位: 百万円)

■ 2016年3月期

■ 2017年3月期



武漢

【武漢丸順汽車配件有限公司】

増収増益

武漢においては、主要客先の増産等の影響を受け、売上高が増加したことにより、償却費及び労務費等の固定費負担が相対的に減少し、損失は減少いたしました。

以上の結果、売上高は3,213百万円(前年同四半期比29.9%増)、経常損失は36百万円(前年同四半期は75百万円の経常損失)となりました。

インディアナ

【インディアナ・マルジュン社】

減収減益

インディアナにおいては、事業撤退に伴う事業活動の縮小の影響により売上高、利益共に減少いたしました。

以上の結果、売上高は7,443百万円(前年同四半期比33.2%減)、経常損失は137百万円(前年同四半期は897百万円の経常利益)となりました。

四輪販売

【株式会社ホンダ四輪販売丸順】

増収増益

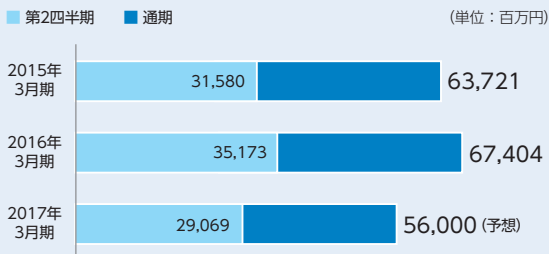
四輪販売においては、中古車販売及びサービス部門の売上が増加したことにより売上高、利益共に増加いたしました。

以上の結果、売上高は1,697百万円(前年同四半期比10.3%増)、経常利益は6百万円(前年同四半期は0百万円の経常損失)となりました。

連結決算ハイライト

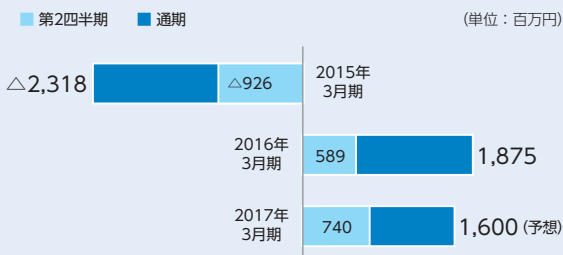
売上高

29,069百万円 ● 前年同四半期比 ↓



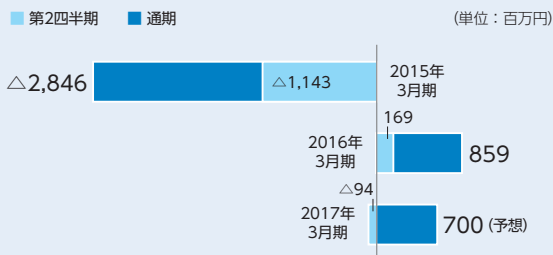
営業利益

740百万円 ● 前年同四半期比 ↑



経常利益

△94百万円 ● 前年同四半期比 ↓

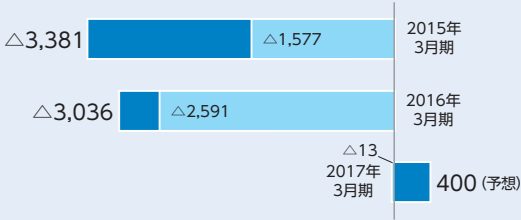


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

△13百万円 • 前年同四半期比 ↑

■ 第2四半期 ■ 通期

(単位：百万円)

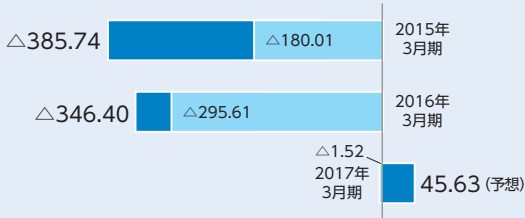


1株当たり親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

△1.52円 • 前年同四半期比 ↑

■ 第2四半期 ■ 通期

(単位：円)

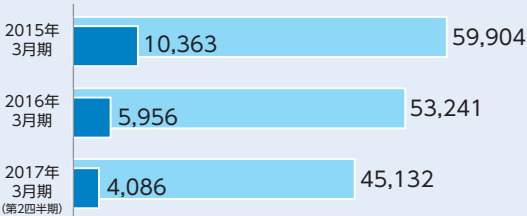


総資産・純資産

45,132百万円 • 4,086百万円

■ 総資産 ■ 純資産

(単位：百万円)

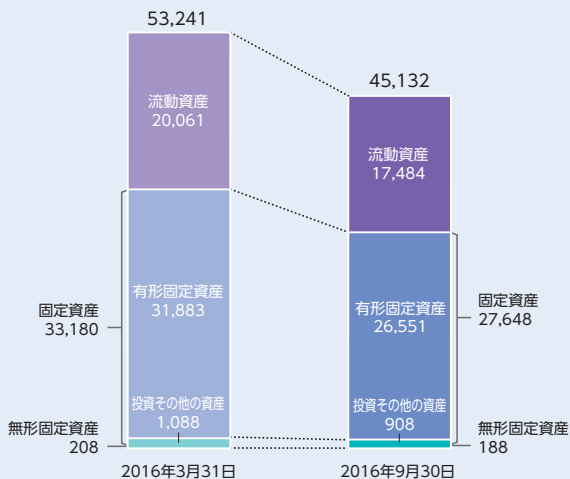


四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

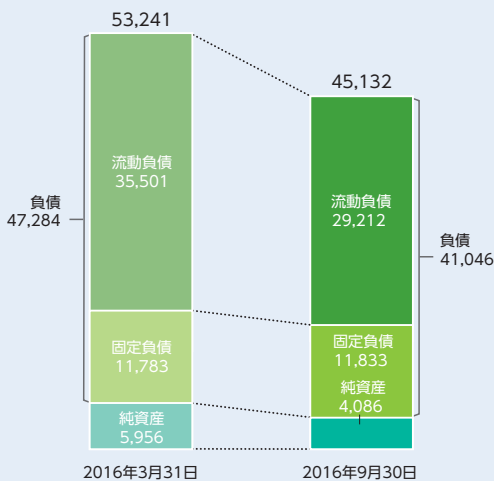
資産の部

(単位：百万円)



負債・純資産の部

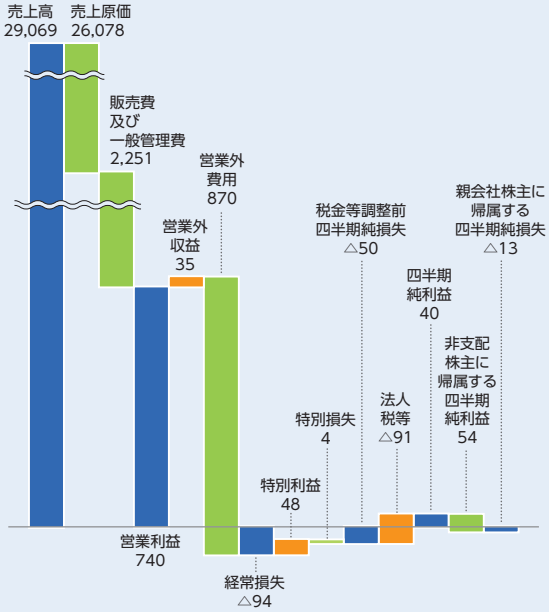
(単位：百万円)



四半期連結損益計算書 (要旨)

2016年4月1日～2016年9月30日

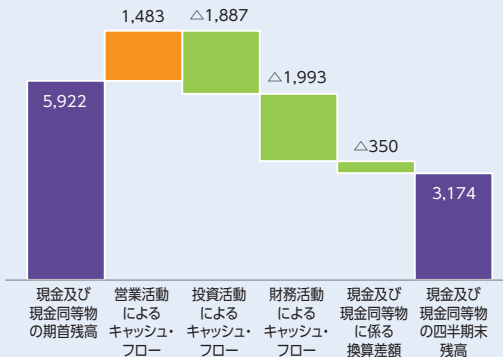
(単位：百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

2016年4月1日～2016年9月30日

(単位：百万円)



会社の概要 (2016年9月30日現在)

会社概況

商号

株式会社 丸順
(英文社名: MARUJUN CO., LTD.)

創業

昭和27年7月
(創業者: 今川 順夫)

設立

昭和35年1月

資本金

1,037百万円

事業内容

自動車用車体プレス部品の製造
自動車用精密プレス部品の製造
各種金型の設計・製作
治具・検査具の設計・製作
自動車の販売・サービス

従業員数

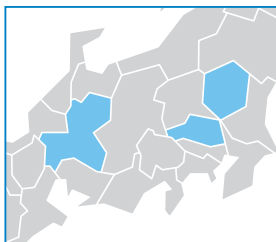
321名 (連結3,144名)

役員

代表取締役社長	今川 喜章
代表取締役専務	齊藤 浩
常務取締役	青山 秀美
取締役	猪熊 篤俊
取締役	上田 勝弘
常勤監査役	馬淵 仁
監査役	片岡 信恒
監査役	奥田 崇雄
執行役員	松井 恒夫
執行役員	山本 哲也
執行役員	棚橋 哲郎
執行役員	森見 幸敏
執行役員	林 和英
執行役員	山崎 英次

(注) 1.取締役 上田勝弘氏は、社外取締役であります。
2.常勤監査役 馬淵仁氏、監査役 片岡信恒氏は、社外監査役であります。

事業拠点



本社・上石津工場

岐阜県大垣市上石津町乙坂130-1

浅西工場

岐阜県大垣市浅西3-22-22

養老工場

岐阜県大垣市上石津町牧田2947-1

埼玉工場

埼玉県鶴ヶ島市三ツ木新町2-5-23

栃木開発センター

栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台198-5

(株)ホンダ四輪販売丸順(子会社)

岐阜県大垣市新田町2-1234

広州丸順汽车配件有限公司(子会社)

中華人民共和国広東省広州市
広州経済技術開発区永和経済区
永盛路8号

インディアナ・マルジュン社(子会社)

200 INKS DRIVE WINCHESTER,
INDIANA 47394, U.S.A

武漢丸順汽车配件有限公司(子会社)

中華人民共和国湖北省武漢市
東湖新技術開発区光谷一路223号

タイ・マルジュン社(子会社)

NONG KHAE INDUSTRY ESTATE BAN
NONGSAMAK 62 MOO-6, KOKYAE, NONG
KHAE, SARABURI 18230, THAILAND

ベステックス・MM・インディア社(出資会社)

SPL-2B, TAPUKARA INDUSTRIAL AREA, KHUSHKHERA,
DISTT. ALWAR, RAJASTHAN-301707, INDIA

株式の状況

株式数及び株主数

発行可能株式総数

39,000,000株

発行済株式の総数

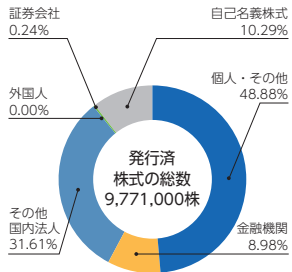
9,771,000株

(自己株式1,004,922株含む)

株主数

877名

株式数構成比

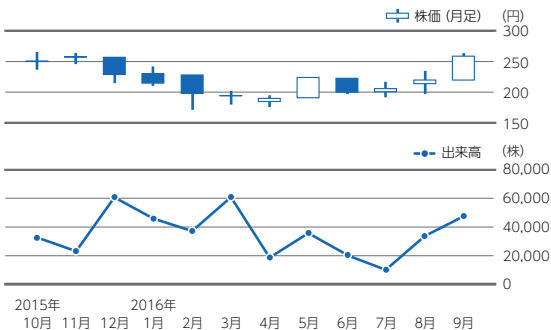


大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
今川喜章	1,022,870	11.67
本田技研工業株式会社	988,950	11.28
今川順夫	959,170	10.94
太平洋工業株式会社	463,950	5.29
名古屋中小企業投資育成株式会社	371,000	4.23
今村金属株式会社	330,000	3.76
株式会社三菱東京UFJ銀行	325,000	3.71
丸順取引先持株会	315,700	3.60
株式会社大垣共立銀行	300,000	3.42
有限会社イマガワ	300,000	3.42

(注) 当社は、自己株式1,004,922株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価チャート



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日 期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



ホームページ

株主・投資家情報をはじめとするIR情報から技術の紹介など様々な会社情報を随時掲載しております。ぜひ、当社ホームページをご覧ください。

当社ホームページURL

<http://www.marujun.co.jp/>

丸 順

検索



株式会社 丸 順



本株主通信は、環境保全のため「植物油インキ」で印刷しています。